

令和8年度  
信州豊かな環境づくり県民会議  
総会資料



「信州エコポスターコンクール2025」

小学生高学年の部 最優秀賞 富士見町立富士見小学校5年

山田 彩梅（やまだ あやめ）さんの作品

# 信州豊かな環境づくり県民会議 通常総会等次第

日時 令和8年5月21日（木）  
午後1時30分から午後3時15分まで  
場所 ぐらしふと信州（オンライン併用開催）

## 1 通常総会（午後1時30分～）

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議 事

- 第1号議案 会長の新任（案）について
- 第2号議案 令和7年度 事業報告について
- 第3号議案 令和7年度 収入支出決算について
- 第4号議案 令和8年度 事業計画（案）について
- 第5号議案 令和8年度 収入支出予算（案）について

(4) その他

(5) 閉会

## 2 表彰式（午後2時15分～）

(1) 受賞者の紹介・表彰状の授与

(2) 受賞者の事例発表

【第1号議案】

信州豊かな環境づくり県民会議 役員選任

任期：令和8年5月21日から令和9年3月31日まで

役職	団体名	所属先での 役職等	氏名
会長	長野県環境保全研究所友の会	会長	大塚 孝一

## 【第2号議案】

# 令和7年度 事業報告

### 1 環境教育の推進

子どもたちの環境意識を高め、地域の環境保全活動の担い手を育成し、環境問題の解決に向けた普及啓発活動に取り組んだ。

#### (1) 信州エコポスターコンクール2025

環境保全に対する理解と関心を深め、環境保全活動への取組を推進することを目的として、長野県及び長野朝日放送株式会社と共同開催し、県内の小中学生から環境保全に関するポスターを募集し、入賞・入選作品を決定した。

上記作品をまとめて紹介するポスターの作成・配布や、長野県公式HP、長野朝日放送の番組、abn駅前ビジョンで紹介するなど、周知を図った。

また、長野県立美術館において、表彰式（1/31）と展覧会（1/29～2/3）を初めて開催し、225名が来場した。

#### 【実施状況】

募集区分	応募作品数	最優秀賞作品数	優秀賞作品数	協賛社賞作品数	入選作品数
小学生（低学年）	54	1	1	1	8
小学生（高学年）	376	1	1	1	10
中学生	248	1	1	1	10
計	678	3	3	3	28

#### 【作品広報】



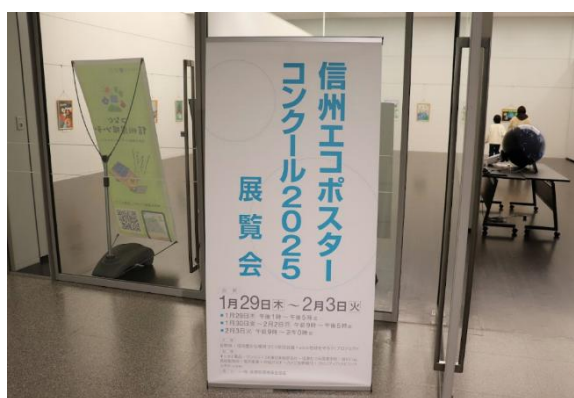
表彰式



展覧会



最優秀賞3名への  
インタビュー



展覧会

## (2) 環境教育冊子の配布

環境保全や気候変動対策に資する人材育成のため、子ども向けに環境についてのクイズ機能を付した「えこのーと」を作成した。このノートはペーパーラボ（使用済み古紙を再生紙にする機械）で作られた再生紙を活用して作られており、長野県庁見学に来た小学生に配布することで、廃棄される予定だった使用済み古紙が、再生紙として生まれ変わることを、実演を交えて紹介した。（48団体1,952人）



えこのーと



ペーパーラボ県庁見学の様子

## 2 協働の推進

多様な主体との連携・協働の下で、地域の環境保全活動におけるパートナーシップを構築し、環境保全のための取組を県民総参加による運動として積極的に展開した。

### (1) 環境月間の推進

6月の環境月間において、県内団体に「信州エコポスターコンクール」や「きれいな信州環境美化運動」等の環境保全活動の実施を呼びかけるとともに、開催される各種取組への参加を県民向けに広報した。

### (2) 環境美化運動の推進

長野県とともに「きれいな信州環境美化運動」を進め、環境美化活動の取組を県民運動として広げ、観光地を含めた県全体をきれいにする運動を展開した。



「ごみゼロの日」統一美化キャンペーンに合わせ6月1日に実施した啓発活動にて花の種等を配布

キャンペーン名	「ごみゼロの日」 統一美化キャンペーン	きれいな信州 美化キャンペーン
実施期間	5月25日～6月30日	10月1日～10月31日
空き缶等回収 参加者数	125,072名	50,409名
回収量	108.7トン	64.5トン
啓発物品の 配布状況	ポスター：390部 チラシ：2,280部 花の種：2,200個	

### (3) 信州環境フェアの開催

#### ア 信州環境フェア2025 親子で体験！地球温暖化を食いとめよう！

地球温暖化防止や循環型社会の形成などに向けた取組を推進し、持続可能な社会を構築する契機とするため、「信州環境フェア2025」を開催した。

項目	内容
名称	信州環境フェア2025 親子で体験！地球温暖化を食いとめよう！
期間	令和7年7月5日（土）
実施主体	主催：信州環境フェア実行委員会 長野県、長野県教育委員会、長野市、長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、長野県資源循環保全協会、長野県産業環境保全協会、長野県環境保全協会、長野県地球温暖化防止活動推進センター、長野市地球温暖化防止活動推進センター、信州豊かな環境づくり県民会議、信濃毎日新聞社
場所	長野市生涯学習センター TOiGO広場
参加者数	1,200人
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ステージイベント               <ul style="list-style-type: none"> <li>・柳田 理科雄氏（空想科学読本著者）サイエンスショー</li> <li>・河村 耕平氏（JAXA研究員）講演「宇宙の視点で地球温暖化を考えよう」</li> <li>・田下 昌志氏（昆虫博士）講演「虫たちの世界へようこそ！君の周りの小さな冒険者たち」</li> </ul> </li> <li>◆体験イベント               <ul style="list-style-type: none"> <li>企業等によるワークショップ（日産自動車、中部電力パワーグリッド、パナソニック、サントリー、田下昌志氏）</li> <li>その他ワークショップ等（キッズサイエンス、長野市、沖縄県、NPO法人みどりの市民）</li> </ul> </li> <li>◆ブース出展               <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県（信州健康ゼロエネ住宅、しあわせバイ信州）</li> <li>・長野県ガス協会</li> <li>・信州プレイブウォリアーズ</li> <li>・日産自動車 ほか</li> </ul> </li> <li>◆その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライト会場（くらしふと信州、82プラザ）でもコンテンツを展開。</li> <li>・スタンプラリーやダンスパフォーマンスなどにより、集客力や回遊性を高めた。</li> </ul> </li> </ul>



柳田先生のサイエンスショー



くらしふと信州での出展

## イ 信州環境フェア地域連携事業の実施

環境保全活動を推進し、持続可能な社会を構築する契機とするため、県内の各地域で開催される各種イベントと連携して、環境保全等に関する展示（ブース出展等）を行った。

### ●令和7年度の実施状況

地域	時期・場所	環境関係の PR 内容
佐久	① 2025 環境フェア in 佐久 10月4日（土）～5日（日） （第57回ぞっこん！さく市） ② 2025 環境フェア in 小諸 10月5日（日） （第31回信州小諸ふーどまつり）	環境保全をテーマにした展示、体験教室等
上田	① うえだ環境フェア 2025 10月4日（土） 上田創造館 ② 第39回丸子消費生活展 11月22日（土） 丸子文化会館 小ホール ③ 令和7年度東御市くらしを見直そう展 9月20日（土）～21日（日） 東御市中央公園巨峰の王国まつり会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州エコポスターコンクール 2025 上小地区入賞・入選作品の展示</li> <li>・エコバッグ作り</li> </ul>

諏訪	<p>① 富士見町「ふじみグリーンフェア」 4月26日(土) 富士見町役場正面駐車場</p> <p>② 岡谷市「おかやエコフェスタ 2025」 5月14日(水)～5月18日(日) レイクウォーク岡谷2階</p> <p>③ 下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会 「第44回諏訪湖クリーン祭」 7月13日(日) 諏訪自動車会館 Bu-bu</p> <p>④ 諏訪市「くらしいきいきエコフェスタ」 10月4日(土) 駅前交流テラスすわっチャオ</p> <p>⑤ 原村「原村エコキャンパス」 11月8日(土) 子ども・子育て支援センターはらっば</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の太陽光発電に係る補助金のパネル展示及びチラシ配布</li> <li>・諏訪湖流域資源循環普及事業に係る広報及び物品配布</li> <li>・諏訪湖のプラスチックごみの展示</li> <li>・諏訪湖環境についてのポスター展示</li> <li>・フードロスに係る周知ポスターの展示</li> </ul>
上伊那	<p>伊那環境展 2025 10月5日(日) 上伊那クリーンセンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイボトル作成体験</li> <li>・ゼロカーボン等に関するパネル展示、啓発</li> <li>・環境啓発資材等の配布</li> </ul>
南信州	<p>南信州環境メッセ 2025 11月1日(土)～2日(日) 南信州・飯田産業センター(エス・バード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボン、プラスチックスマートに関する展示</li> <li>・親子環境体験学習会</li> </ul>
木曾	<p>① 大桑村 森の里の秋まつり 10月25日(土) 大桑村スポーツ公園</p> <p>② 御神木祭 6月4日(水)～5日(木) 上松駅前 イベント会場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止等をテーマにしたパネル展示</li> <li>・来場者へのゼロカーボンに関するアンケート等</li> <li>・木曾地域の自然等をテーマにしたパネル展示、来場者へのアンケート</li> </ul>
松本	<p>安曇野環境フェア 2025 10月4日(土)～5日(日) 安曇野市堀金総合体育館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルエコバッグ作り(アルクマスタンプによる)</li> </ul>
北アルプス	<p>はくばストリートフェス 8月30日(土) 白馬駅前通り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルエコバッグ作り(アルクマスタンプによる)</li> </ul>

北 信	① エコパーク寒川フェア 6月15日(日) エコパーク寒川 ② 2025 信州なかの環境フェア 9月23日(火) ソソラホール ③ 木島平村村民祭 10月25日(土) 木島平村体育館、若者センター、芝生広場、 保健センター、デイサービスセンター周辺ほか	・エコバッグづくり ・ゼロカーボンに関する啓発パネル、 パンフレット等の展示
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

#### (4) ゼロカーボン実現に向けた取組の推進

2020年に白馬高校から始まった教室断熱ワークショップは、これまで小中高10校以上で実施されてきた。このワークショップをさらに県内へ広げ、ゼロカーボンを推進するために、くらしふと信州と連携して、魅力やノウハウを伝える冊子を作成し、小中高校や市町村、関係団体へ配布した。令和7年度は冊子を増刷し、学校や建設業者へ配布した。

冊子紹介サイト <https://www.kurashi-futo-shinshu.jp/report/2189/>



#### (5) 循環型社会形成に向けた取組の推進

##### 「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」

長野県とともに食品ロスを削減しごみ減量につなげることを目指し、県内の小売事業者と連携して「食べるタイミングを考えて消費期限・賞味期限間近の食品から順番に購入すること」(てまえどり)を呼びかける「信州発もったいないキャンペーン」を行った。

##### ○松本国際中学校生徒との連携

エシカル消費の学びに取り組む松本国際中学校学究系生徒の皆様にご作成いただいたデザイン(下記)を啓発物(右図)に採用し、県内の小売事業者等の店舗に掲示することで啓発を行った。



(松本国際中学校学究系生徒によるデザイン部分)



### 3 情報の発信

県民会議の会報誌である「たまき」を年4回発行し、会員、地域会議会員、市町村への配布やホームページでの情報発信により、環境保全に対する県民意識の高揚を図った。



Vol. 113



Vol. 114



Vol. 115



Vol. 116

### 4 豊かな環境づくり地域会議の活動支援

地域会議へ運営費を配分し、地域会議の事業活動の活性化を図ることで、県内各地での環境保全活動を推進した。

【各地域会議の特徴的な取組（令和7年度）】

#### ● 佐久地域会議

- ・助成事業の実施

環境美化や環境教育に関する活動に対し助成を行った。（1団体）

- ・「信州エコポスターコンクール2025」において佐久地域会議独自の表彰を設け、入選2作品、佳作10作品に対し賞状及び記念品の贈呈と参加者全員へ参加賞の贈呈を行った。また、1階展示スペースにて作品の展示を行った。



作品掲示状況

#### ● 上田地域会議

環境学習会として、食材を有効に使い、料理を作る時に出るごみの量を減らす調理方法等を学ぶ「エコ・クッキング教室」を上田地域振興局と共催で開催した。18名が参加し、長野県のごみ排出状況や環境と健康に配慮した食生活の解説と4品の調理実習を行い、開催後のアンケートではすべての参加者から「満足」との回答をいただいた。



エコ・クッキング

また、上田市、東御市で開催された環境フェアでは、自らデザインしたエコバッグを作るコーナーを出展し、エコバッグの普及促進を図った。



環境フェアの様子

● 諏訪地域会議

- ・「信州ポスターコンクール2025」の諏訪地域応募作品全58点を諏訪合同庁舎県民室に展示した。参加賞として、アルクマのオリジナルロゴ入りエコバッグを配布した。
- ・都留文科大学非常勤講師 西 教生 氏を講師として「身近な生き物への関心が地域の生物多様性保全に貢献する」をテーマに、富士見町で研修会を行った。
- ・環境美化・自然保護を行うボランティア団体、市町村、小・中・高・養護学校等、計49団体に助成金2,124,237円を交付し、活動を支援した。

- ・令和7年度の活動報告をまとめたリーフレット「美しい環境づくり通信Vol.23」を発行した。



「信州ポスターコンクール2025」全作品展示会



「美しい環境づくり通信Vol.23」の発行

## ● 上伊那地域会議

信州環境フェア地域連携事業費を活用し、伊那市環境展においてペットボトル削減を目的とした啓発活動を実施した。

メイン企画の「オリジナルマイボトル制作」では、長野県PRキャラクター「アルクマ」のシールを用意。参加者が自らボトルを装飾する体験を通じ、使い捨て容器からマイボトル利用への転換を促した。当日は親子連れを中心に来場者が絶えず、参加者は最終的に230名に達し、大盛況となった。

あわせて環境啓発物品の配布も行い、日常生活におけるプラスチックごみ削減の重要性を多角的に周知した。身近な体験と物品配布を組み合わせることで、幅広い層へ効果的に環境配慮の意識を浸透させることができた。



オリジナルマイボトル制作

## ● 飯伊地域会議

### ・豊かな環境づくり地域活動支援事業の実施

地域会議の会員が実施する環境保全活動を交付金により支援した。

松川町：ツツザキヤマジノギク保全活動【交付額…100,000円】

保全活動では、5月から天竜川沿岸の保全地について、外来種の除去や除草活動を実施した。

また、中学生の総合学習の素材として、環境学習にも取り組んだ。

11月8日（土）には、観察会を実施し、町内外から多くの参加者が集まった。



ツツザキヤマジノギク



除草作業



観察会

### ● 木曾地域会議

令和7年6月4日、5日に上松町において開催された「御神木祭」にブース出展し、木曾地域の自然や環境に関するチラシの配布、木曾の自然環境・ゼロカーボンに関するアンケートを実施した。

長野県内外から来場した397名から回答があり、理解を深めてもらうことができた。



御神木祭



出展ブース

### ● 松本地域会議

#### ・安曇野環境フェア2025出展

アルクマスタンプによるオリジナルエコバッグ作りを行い、約300名の来場者があった。



出展ブース



#### ・乗鞍自然観察会

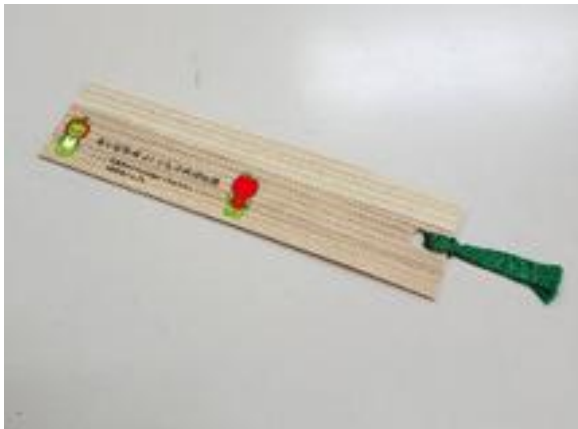
自然に親しみながら自然環境の保全に取り組むことを目的とした、乗鞍岳専属のガイドによる、乗鞍自然保護センターから豊平周辺の観察会を行い、39名が参加した。



観察会の様子

・信州エコポスターコンクール2025

応募者138名全員に、塩尻市の酒井産業（株）に製作を委託した木曾ヒノキ製のオリジナルアルクマ鉛筆（小学生）及びしおり（中学生）を記念品として贈呈した。



しおり



アルクマ鉛筆

・地域活動支援事業

当該会員が実施する環境保全や環境取組について2団体へ支援を行なった。

・人材育成研修会

年2回、講師を招いて研修会を実施。1回目は総会后、2回目は木曾、諏訪地局、自然保護レンジャー研修会と合同で行った。

● 大北地域会議

地域の様々な環境保全活動を地域活動支援事業に位置付けて交付金を支出した。

・美しいまちづくり行動デー（池田町）

主要道路の環境整備の一環として年2回、池田町の住民を中心に、ごみ拾いや草取りを実施した。



ごみ拾い・草取り

● 環境美化活動（小谷村）

大北地域会議の会員である大北農業組合女性部を中心に小谷村の住民と合わせ総勢110名による環境美化活動を行なった。

● 外来生物駆除活動（小谷村）

来馬河原村宮グラウンド周辺で6月に、更生保護女性会や保護司などを含めた34名が、約2時間30分をかけてオオキンケイギクやセイタカアワダチソウの駆除を行い、計780kgを処分した。



活動風景

● 長野地域会議

● 地域活動支援事業 申請団体 3団体

(1) 高山村 ごみの持ち帰り、散乱防止の意識啓発運動

高山村榎沢橋付近の通行車両に、ごみの散乱防止グッズやチラシを渡し、空き缶等ごみの散乱防止の呼びかけを実施した。午前9時から1時間活動し100台に啓発活動を行った。



啓発活動の様子



ネーム入り圧縮型プレスタオル

(2)ながの環境パートナーシップ会議（松代オオムラサキの里）オオムラサキの生育環境の保全・整備の取組み

希少生物（オオムラサキ等）の生育環境の保全・整備や、里山に生息する小生物や植物等を観察できる環境を整備し、環境保全の啓発に取り組んだ。また、観察会の開催、校外学習（近隣小学校5校）の受け入れを行った。



オオムラサキ



草刈り作業

（ながの環境パートナーシップ会議 HP 松代オオムラサキの里より）

(3)長野県建設業協会長野支部 建設業美化事業ボランティア

道路の除草・清掃、障がい者施設から購入したサルビア 60 鉢、マリーゴールド 810 鉢の苗を植栽し、緑化の推進ならびにゴミのポイ捨て抑止を行った。



植栽した花

● 北信地域会議

- ・中野市衛生自治会の秋の市民大清掃事業への活動支援

令和7年11月9日、総勢3,687名が参加する中野市内全域清掃事業の活動支援を行った。事業内容は、公共施設（公会堂等）の清掃、側溝の汚泥除去、路肩の草刈り及びごみ拾い等で、環境に対する意識啓発に取り組んだ。



ごみ拾い・路面清掃



側溝の汚泥除去

・飯山市 2050 カーボンニュートラル実現のための啓発事業への活動支援  
令和 7 年 9 月 28 日、飯山市主催の「いいやま脱炭素フェア 2025」にブースを出展し、地球温暖化とその対策についてのパネル展示や市民意識のアンケート調査を行った。



サスティナブルや廃棄の問題を考えていただくために「海洋プラスチックごみ」等を利用したボールペンを配布



いいやま脱炭素フェア 2025



パネル展示・アンケート調査

## 5 その他

### (1) 県民会議の総会及び表彰の実施

令和7年5月21日（水）に令和7年度信州豊かな環境づくり県民会議通常総会を開催し、令和6年度活動報告・収入支出決算報告及び令和7年度活動計画・収入支出予算案の決議を行った。

また、長年にわたり又は他の模範となり、環境美化活動、自然保護活動、地球温暖化防止活動等に取り組み、その知識の普及啓発に努めている団体及び個人（8団体1個人）を表彰し、賞状授与の後、受賞者による事例紹介・活動紹介を行った。



表彰状授与



事例紹介



記念撮影

【第3号議案】

令和7年度 収入支出決算書

自 令和7年4月1日  
至 令和8年3月31日

【一般会計】

収入決算額	4,766,356 円
支出決算額	3,764,334 円
差 引	1,002,022 円

【収入の部】

(単位：円)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B - A)	摘 要
1 負担金収入		4,425,000	4,223,703	▲ 201,297	
	1 県内団体 負担金収入	1,225,000	1,205,000	▲ 20,000	
	2 県負担金収入	3,200,000	3,018,703	▲ 181,297	
	(1) 一般分	2,300,000	2,300,000	0	
	(2) 地域連携事業費分	900,000	718,703	▲ 181,297	実績に応じて変動
2 雑収入	1 雑収入	637	2,290	1,653	預金利息
3 繰越金	1 繰越金	540,363	540,363	0	前年度からの繰越金
収入合計		4,966,000	4,766,356	▲ 199,644	

## 【支出の部】

(単位：円)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B - A)	摘 要
1	環境保全事業費	2,616,000	2,234,684	▲ 381,316	
	1 事業費	2,316,000	2,047,409	▲ 268,591	
	信州エコポスターコンクール事業	730,000	604,965	▲ 125,035	展覧会・表彰式開催費、 入賞者賞品等
	こどもエコクラブ活動支援事業	50,000	0	▲ 50,000	応募なし
	環境美化運動推進事業	86,000	79,860	▲ 6,140	
	信州環境フェア開催事業	1,000,000	888,903	▲ 111,097	
	ゼロカーボン推進事業	220,000	220,000	0	
	循環型社会形成推進事業	0	0	0	
	県民会議表彰事業	230,000	253,681	23,681	表彰式出席者の記念品、交 通費等
	2 啓発費	300,000	187,275	▲ 112,725	会報誌たまきの発行
2	地域会議運営費	1,451,700	1,451,700	0	
	1 地域会議運営費				
3	会議費	0	0	0	
	1 会議費				
4	一般管理費	300,000	77,950	▲ 222,050	
	1 事務費	50,000	0	▲ 50,000	
	2 通信費	200,000	32,210	▲ 167,790	郵送料
	3 雑 費	50,000	45,740	▲ 4,260	振込手数料等
5	予備費	598,300	0	▲ 598,300	
	1 予備費				
支出合計		4,966,000	3,764,334	▲ 1,201,666	

【特別会計】（キッズISOプログラム事業に係る会計）

収入決算額	2,179,508 円
支出決算額	710,050 円
差 引	1,469,458 円

【収入の部】

(単位：円)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B - A)	摘 要
1 寄付金	1 寄付金	0	0	0	
2 雑収入	1 雑収入	609	3,117	2,508	預金利息
3 繰越金	1 繰越金	2,176,391	2,176,391	0	前年度からの繰越
収 入 合 計		2,177,000	2,179,508	2,508	

【支出の部】

(単位：円)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B - A)	摘 要
1 事業費	1 事業費	2,080,000	710,050	▲ 1,369,950	えこの一と製本等
2 予備費	1 予備費	97,000	0	▲ 97,000	
支 出 合 計		2,177,000	710,050	▲ 1,466,950	

# 監 査 報 告 書

令和7年度事業及び経理の状況について、関係帳簿、証拠書類を監査したところ、  
適正に処理されているものと認めますので、ご報告いたします。

令和8年5月11日

監 事 名

一般社団法人 長野県自動車販売店協会

西 沢 健 

令和8年5月13日

監 事 名

公益社団法人 長野県建築士会

事務局長 倉石 雅章 

## 【第4号議案】

# 令和8年度 事業計画（案）

## 1 基本方針

長野県の美しく豊かな環境を、自然と人間との関わりの中で維持・保全し、その恵みを将来の世代に継承していくため、県民・事業者・関係団体・行政等あらゆる主体の参加と連携により、豊かな環境づくりを推進する。

このため、当会議は率先して環境保全に取り組むとともに、環境保全に向けた一斉行動の主旨や機会の提供等を行い、県民の環境保全活動への意識を高揚させていく。

## 2 事業計画

### (1) 環境教育の推進

子どもたちの環境意識を高め、地域の環境保全活動の将来の担い手の育成に取り組む。

#### ア 信州エコポスターコンクール2026【予算額：690,300円】

環境保全に対する理解と関心を深め、環境保全活動への取組を推進することを目的として、長野県及び長野朝日放送株式会社と共同して、県内の小中学生を対象としたポスターコンクールを実施する。

また、入賞作品の展覧会を令和9年1月28日（木）から2月2日（火）の期間に長野県立美術館で開催することで、来場者に環境保全への意識を高めてもらう機会にする。

（表彰式については1月30日（土）に開催予定）

○エコポスターコンクール最終審査会 審査委員

氏名	所属・役職
未定	信州豊かな環境づくり県民会議 会長
未定	長野県 教育委員会 美術科 教諭
山浦 愛幸	（一社）長野県環境保全協会 会長
上島 史子	安曇野ちひろ美術館 副館長
小松 美羽	銅版画家・アーティスト
ヤポンスキー こばやし画伯	お笑い芸人

#### イ 環境教育冊子の配布（旧キッズISOプログラム）【予算額（特別会計）：1,470,000円】

キッズISOプログラムを提供する特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構から、令和4年度末をもってプログラム終了する旨連絡があったため、当県民会議でも同プログラムによる活動は終了。令和5年度から、環境保全や地球温暖化対策に資する子ども向けの冊子を作成し、県内の小学生等に配布することにより、環境教育のさらなる推進を図っている。

令和8年度も、えこの一とを増刷し、県庁見学に来庁した小学生に配布するほか、環境フェア等のイベントで配布する。

#### ウ こどもエコクラブ活動支援【予算額：30,000円】

こどもエコクラブの壁新聞・絵日記コンテストの県代表に選ばれたクラブに対し、「こどもエコクラブ全国フェスティバル」への参加を支援する。

## (2) 協働の促進

多様な主体との連携・協働を通じて、地域の環境保全活動におけるパートナーシップを構築する。

### ア 環境月間の推進

6月の「環境月間」について、関係機関に趣旨を広く周知するとともに、期間中に開催される諸行事への積極的な参加を促す。

### イ 環境美化運動等の推進【予算額：86,000円】

地域住民、市民団体、学校、企業、行政機関など、多様な主体が実施する環境美化活動を県民運動として広げるとともに、キャンペーン期間を設定して環境美化運動を推進する「きれいな信州環境美化運動推進事業」に取り組む。

### ウ 信州環境フェアの開催【予算額：1,000,000円】

県内の行政機関、各種団体で構成する「信州環境フェア実行委員会」に参画し、「信州環境フェア2026」の開催に協力するとともに、県内各地で開催される環境イベント等と連携して出展する地域会議の活動を支援する「信州環境フェア地域連携事業」に取り組む。

【信州環境フェア2026 開催概要】

日時：令和8年10月25日（日）

会場：TOiGO 広場・長野市生涯学習センター

### エ ゼロカーボン実現に向けた取組の推進【予算額：200,000円】

ゼロカーボンの取組みを推進するための普及啓発の実施や、環境問題に関心のある学生等への取組支援などを通じて、「くらしふと信州」と連携しながら、2050ゼロカーボン実現に向けて、県民の行動変容を促す。

### オ 循環型社会形成の推進

県内小売業者と連携し、食べるタイミングを考えて消費期限・賞味期限間近の食品から順番に購入することや家庭で残さず食材を使うことなどを呼びかけることで、食品ロスを削減し、環境にやさしいエシカル消費を促進するキャンペーンを行う。

## (3) 情報の発信【予算額：300,000円】

環境保全活動に対する県民意識の高揚を図るため、各種啓発活動に取り組むとともに、会報「たまき」を4回発行するほか、県民会議の取組を県HPで紹介する。

## (4) 豊かな環境づくり地域会議の活動支援【予算額：1,648,800円】

県内各地での環境保全活動を推進するため、地域振興局環境課に事務局を置く豊かな環境づくり地域会議の事業を支援する。

## (5) その他

### ア 県民会議表彰の実施【予算額：208,200円】

長野県内において、長年にわたり又は他の模範となり、環境美化活動、自然保護活動、地球温暖化防止活動等に取り組み、その知識の普及啓発に努めている個人や団体を信州豊かな環境づくり県民会議表彰として表彰する。

### イ 会議の開催

前年度の実施事業及び決算報告、次年度の事業計画及び予算を会員へお諮りすることを目的として運営会議及び総会を開催する。

【第5号議案】

令和8年度 収入支出予算（案）

自 令和8年4月1日  
至 令和9年3月31日

【一般会計】

収入予算額	5,108,000 円
支出予算額	5,108,000 円
差 引	0 円

【収入の部】

（単位：円）

区 分	令和8年度 予 算 額 (A)	令和7年度 予 算 額 (B)	増減額 (A－B)	摘 要
1 負担金収入	4,105,000	4,425,000	▲ 320,000	
1 県内団体 負担金収入	1,205,000	1,225,000	▲ 20,000	1 団体あたり20千円
2 県負担金収入	2,900,000	3,200,000	▲ 300,000	
(1) 一般分	2,000,000	2,300,000	0	
(2) 地域連携事業費分	900,000	900,000	0	
2 雑収入	978	637	341	預金利息
3 繰越金	1,002,022	540,363	461,659	前年度からの繰越金
収入合計	5,108,000	4,966,000	142,000	

## 【支出の部】

(単位：円)

区 分	令和8年度 予 算 額 (A)	令和7年度 予 算 額 (B)	増減額 (A-B)	摘 要
1 環境保全 事業費	2,514,500	2,616,000	▲ 101,500	
1 事業費	2,214,500	2,316,000	▲ 101,500	
信州エコポスターコンクール事業	690,300	730,000	▲ 39,700	
こどもエコクラブ活動支援事業	30,000	50,000	▲ 20,000	全国フェスティバルへの 参加者交通費
環境美化運動推進事業	86,000	86,000	0	
信州環境フェア開催事業	1,000,000	1,000,000	0	
ゼロカーボン推進事業	200,000	220,000	▲ 20,000	
循環型社会形成推進事業	0	0	0	県との連携により実施
県民会議表彰事業	208,200	230,000	▲ 21,800	R7：8団体1個人
2 啓発費	300,000	300,000	0	会報「たまき」発行代
2 地域会議運営費	1,648,800	1,451,700	197,100	
1 地域会議運営費				
3 会議費	0	0	0	オンライン開催
4 一般管理費	220,000	300,000	▲ 80,000	
1 事務費	50,000	50,000	0	事務用品（封筒等）購入費用
2 通信費	120,000	200,000	▲ 80,000	郵便料、インク使用料等
3 雑 費	50,000	50,000	0	振込手数料等
5 予備費	724,700	598,300	126,400	次年度への繰越金含む
支出合計	5,108,000	4,966,000	142,000	

【特別会計】（環境教育冊子の配布に係る会計）（旧キッズISOプログラム）

収入予算額	1,470,000 円
支出予算額	1,470,000 円
差 引	0 円

【収入の部】

(単位：円)

区 分		令和8年度 予 算 額 (A)	令和7年度 予 算 額 (A)	増減額 (A－B)	摘 要
1	寄付金	0	0	0	
2	雑収入	542	609	▲ 67	預金利息等
3	繰越金	1,469,458	2,176,391	▲ 706,933	前年度からの繰越
収 入 合 計		1,470,000	2,177,000	▲ 707,000	

【支出の部】

(単位：円)

区 分		令和8年度 予 算 額 (A)	令和7年度 予 算 額 (A)	増減額 (A－B)	摘 要
1	事業費	1,375,000	2,080,000	▲ 705,000	えこの一との印刷 5,500冊×250円=1,375,000円
2	予備費	95,000	97,000	▲ 2,000	
支 出 合 計		1,470,000	2,177,000	▲ 707,000	

信州豊かな環境づくり県民会議 会員名簿

令和8年5月現在

No	団体名
1	(一社)ガールスカウト長野県連盟
2	上高地を美しくする会
3	長野県環境保全研究所友の会
4	全水道長野県支部
5	全国農業協同組合連合会長野県本部
6	(公社)信濃教育会
7	(公社)食品容器環境美化協会
8	白樺高原を美しくする会
9	(一社)長野県観光機構
10	生活協同組合コープながの
11	(公財)妻籠を愛する会
12	長野県
13	(一社)長野県LPガス協会
14	長野県河川協会
15	長野県環境測定分析協会
16	(一社)長野県環境保全協会
17	(一社)長野県缶詰協会
18	長野県漁業協同組合連合会
19	(一社)長野県銀行協会
20	長野県勤労者協議会連合会
21	(一社)長野県経営者協会
22	(一社)長野県建設業協会
23	(公社)長野県建築士会
24	長野県高等学校校長会
25	長野県高等学校PTA連合会
26	長野県公民館運営協議会
27	(公財)長野県国際化協会
28	(一社)長野県産業環境保全協会
29	長野県資源回収事業協同組合
30	(一社)長野県資源循環保全協会
31	長野県市長会
32	長野県市町村教育委員会連絡協議会
33	(一社)長野県自動車販売店協会
34	(福)長野県社会福祉協議会
35	(一社)長野県砂利砕石業協会
36	(一社)長野県獣医師会
37	長野県住宅供給公社
38	(公社)長野県浄化槽協会
39	長野県小学校校長会
40	(一社)長野県商工会議所連合会
41	長野県商工会連合会
42	長野県消費者団体連絡協議会
43	長野県消費者の会連絡会
44	(一社)長野県食品衛生協会
45	(一社)長野県植物防疫協会
46	長野県森林組合連合会
47	長野県水源林造林協議会
48	(一社)長野県生活衛生同業組合連合会

No	団体名
49	長野県生活協同組合連合会
50	長野県製菓協会
51	長野県石油商業組合
52	(一社)長野県造園建設業協会
53	長野県治山林道協会
54	長野県治水砂防協会
55	長野県地方自治研究センター
56	長野県中学校長会
57	長野県中小企業団体中央会
58	(公財)長野県長寿社会開発センター
59	長野県町村会
60	長野県電機商業組合
61	長野県道路公社
62	(公社)長野県トラック協会
63	長野県農業協同組合中央会
64	(公社)長野県バス協会
65	長野県PTA連合会
66	長野県旅館ホテル組合会
67	(公財)長野県緑の基金
68	(一社)長野県薬剤師会
69	(一社)長野県猟友会
70	(公社)長野県林業公社
71	(一財)長野県シニアクラブ連合会
72	長野ライオンズクラブ
73	(一社)長野県林業土木協会
74	(公社)日本山岳会信濃支部
75	(一財)日本森林林業振興会長野支部
76	日本ボーイスカウト長野県連盟
77	日本労働組合総連合会長野県連合会
78	街を花いっぱいにする会

# 信州豊かな環境づくり県民会議 会則

## (名称)

第1条 この会議は、信州豊かな環境づくり県民会議（以下「県民会議」という。）と称する。

## (事務所)

第2条 県民会議の事務所は長野市に置く。

## (目的)

第3条 県民会議は、豊かな環境づくりを県民総参加により推進することにより、自然と人とが共生し、環境への負荷の少ない持続的に発展することができる郷土を築き、もって現在及び将来の県民生活の健全な発展に寄与することを目的とする。

## (事業)

第4条 県民会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 豊かな環境づくりを推進する活動の企画及び実践並びに長野県環境基本計画に定める行動指針（以下「行動指針」という。）の実践
- (2) 情報の収集及び提供、印刷物の刊行、配布等の啓発並びに行動指針を実践するための会員相互の意見交換
- (3) 諸調査の実施
- (4) 講演会、研究会、人材育成のための研修会等の開催
- (5) その他県民会議の目的を達成するために必要な事業

## (会員及び支援会員)

第5条 県民会議の会員は、第3条の目的に賛同する県内団体及び長野県とする。

- 2 県民会議の目的に賛同し、財政、専門的知識等の面で支援する個人又は法人等を支援会員にすることができる。

## (入会及び退会)

第6条 県民会議に入会しようとするものは、会長に入会申込書（様式第1号）を提出するものとする。

- 2 会長は、前項の規定により申込みをしたものについて、入会の可否を決定し、その結果を通知するものとする。
- 3 県民会議を退会しようとするときは、会長に退会届（様式第2号）を提出し、運営会議の承諾を受けるものとする。

## (役員)

第7条 県民会議に、次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 6名以内
- (3) 監事 2名

- 2 前項に定めるもののほか、必要に応じ、県民会議に若干名の運営委員を置くことができる。

## (役員の仕事)

第8条 会長は、県民会議を代表し会務を総理する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは会長があらかじめ指定した副会長がその職務を代理する。
- 3 会長及び副会長は、運営会議を組織し、事業の企画、立案及び調整を図り、並びに重要な会務を審議決定する。
- 4 運営委員は、運営会議に参画して会務に対する助言を行う。
- 5 監事は、事業の執行及び会計を監査し、運営会議及び総会に報告する。

(役員を選任)

第9条 役員は総会において会員及び地域会議を代表する者のうちから選任する。

(役員任期)

第10条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 欠員を生じたために就任した役員任期は前任者の残任期間とする。
- 3 特定の役職により役員となった者が、その役職を退任したときは、その後任者が役員となる。この場合の任期は前項の規定を準用する。
- 4 役員任期が満了した場合に、後任者の就任するまでは前任者がその職務を行うものとする。

(顧問)

第11条 県民会議に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、重要事項について会長の諮問に応ずる。

(会議)

第12条 会議は、総会及び運営会議とする。

- 2 総会は、これを通常総会及び臨時総会とする。
- 3 通常総会は毎年開催し、臨時総会は必要に応じ開催する。
- 4 運営会議は、必要に応じ開催する。
- 5 運営会議には、必要に応じ部会を置くことができる。

(会議の招集)

第13条 会議は、会長が招集する。

- 2 会員の3分の1以上の請求があった時は、会長は総会を招集しなければならない。
- 3 総会は、少なくとも期日の5日前までに会議の目的、場所及び日時並びに会議に付議する事項を示して招集しなければならない。

(会議の運営)

第14条 総会は、県民会議を構成する会員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

- 2 総会及び運営会議の議長は、会長がこれにあたる。
- 3 総会の議事は、出席会員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 前項の規定にかかわらず、会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の同意を得なければすることができない。

(総会付議事項)

第15条 総会に付議する事項は次の各号に掲げる事項とする。

- (1) 事業計画の決定
- (2) 収支予算の決定
- (3) 事業報告及び収支決算の承認
- (4) 会則の変更
- (5) 役員を選任
- (6) その他運営会議が必要と認めた事項

(運営会議付議事項)

第16条 運営会議に付議する事項は次の各号に掲げる事項とする。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 事業の企画、立案及び調整等
- (3) その他会長が必要と認めた事項

(会計)

第17条 県民会議の経費は、負担金、寄付金その他の収入をもってあてる。

- 2 負担金は、毎年度総会において納入する額を定めるものとする。ただし、特別の事情がある場合、会長は会員の申出により、その会員の負担金を減免することができる。
- 3 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(地域会議の設置)

第18条 広域市町村圏ごとに地域会議を置く。

(事務局)

第19条 県民会議に事務を処理するため事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長、幹事、書記、その他必要な職員を置き、会長が任命する。
- 3 職員は会長の定めた職務に従事する。

(補則)

第20条 この会則に定めるもののほか必要な事項は、運営会議において定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この会則は、平成5年4月27日から施行する。
- 2 この会則施行の際、旧環境浄化推進協会の会員であった者は、この推進会議の会員となるものとする。
- 3 この会則施行の際、現に存する地域環境浄化推進協会は、会則第23条第2項に規定する地域推進会議に改組されるまでの間、同項の地域推進会議とみなす。

附 則 (平成9年4月24日付け一部改正附則)

(施行期日)

- 1 この会則は、平成9年4月24日から施行する。

(経過処置)

- 2 この会則施行の際、旧長野県美しい環境づくり推進会議の会員であった者は、この県民会議の会員となるものとし、賛助会員であった者は、第5条第2項に規定する支援会員となるものとする。
- 3 この会則施行の際、現に存する美しい環境づくり地域推進会議は、第18条に規定する地域会議に改組されるまでの間、同項の地域会議とみなす。

附 則 (平成29年5月15日付け一部改正附則)

(施行期日)

- 1 この会則は、平成29年5月15日から施行する。

(様式第1号) (第6条関係)

入 会 申 込 書

信州豊かな環境づくり県民会議  
会 長

様

貴会議の趣旨に賛同し、入会の申込みをいたします。

年 月 日

所在地 (〒 )

電 話

氏 名 (代表者名) ⑩

(様式第2号) (第6条関係)

退 会 届

信州豊かな環境づくり県民会議  
会 長

様

下記の理由により、貴会議を退会したいので、承諾願います。

年 月 日

所在地 (〒 )

電 話

氏 名 (代表者名) ⑩

記

退会の理由：

令和8年度 信州豊かな環境づくり県民会議表彰 受賞者一覧(7団体)

(敬称略・順不同)

受賞者	具体的な取組内容	活動期間	活動地域
<p>段丘戦隊 ビリンジャー</p>	<p>■手入れが滞り荒廃の一途をたどる下伊那郡高森町の里山「段丘林」は、土砂災害の危険、通行の支障、有害鳥獣の住処、竹林の拡大、生態系の単純化、景観の悪化など、地域の大きな課題となっている。</p> <p>この課題解決に取り組むべく、多世代の有志が、官民協働の集まり「段丘戦隊ビリンジャー」を結成した。「みんなで美しい段丘林を取り戻そう」を合言葉に、山林に親しみつつ、安全作業で課題解決に近づけるよう、年間を通して里山の整備、保全作業に取り組んでいる。</p> <p>また、活動内容に関わり、他団体との共同作業、小中学校の授業支援にも協力している。</p>	<p>令和元年～ (7年間)</p>	<p>高森町</p>
<p>株式会社岡谷組</p>	<p>■地域に根差す建設業として、長年にわたり環境保全活動を続けてきた。</p> <p>平成 14 年より地元・諏訪湖の環境保全活動として開始し、社員による年 2 回の清掃ボランティアを実施している。</p> <p>平成 21 年には塩尻環境スタンダード認定を取得。電気・ガソリン・紙使用量の削減目標を設定し、継続して達成している。</p> <p>平成 28 年からは産業廃棄物 3R 実践協定を締結し、目標を明確にして取り組んできた。また、現場規模に応じた発電システムの活用により電力使用量および二酸化炭素排出量の削減を推進している。さらに令和 3 年以降は、余剰コンクリートを仮設資材として再利用し、年間約 30m<sup>3</sup> の廃棄物削減を継続している。</p> <p>これらを通じ、建設業として環境保全の模範となる活動を行っている。</p>	<p>平成 14 年～ (24 年間)</p>	<p>岡谷市 他</p>
<p>株式会社三六組</p>	<p>■飯田市扇町に所在する市営駐車場において、平成 18 年に同駐車場の再整備事業を請け負ったことを契機に、花壇整備を中心とした環境美化活動を開始した。再整備では駐車場舗装や公共トイレの設置を行い、現在も市役所や隣接する動物園の利用者をはじめ、多くの市民に利用される公共施設となっている。</p> <p>こうした公共性の高い施設であることを踏まえ、社員がボランティアとして、マリーゴールドやペチュニアなどの植栽、季節に応じた草刈りや手入れ、駐車場全体の清掃を定期的 to 実施し、地域景観の向上と利用環境の改善に継続して取り組んでいる。</p>	<p>平成 18 年～ (20 年間)</p>	<p>飯田市</p>

受賞者	具体的な取組内容	活動期間	活動地域
<p>吉田地区 愛生クラブ</p>	<p>■塩尻市吉田地区愛生クラブとして独立する以前の平成6年以来 30年以上、地域の憩いの場である長者原公園の環境維持に取り組んでいる。</p> <p>年間を通じて計画的に活動しており、年6回の定期的な草刈りやサツキ等の剪定、落葉清掃に加え、年3回のトイレ清掃を行い、公園の清潔と美観を保持している。</p> <p>作業時は安全確保を最優先し、刈払機を使用した日の翌日に手作業での草取りや落葉の片付けを行う「2つ工程作業」を徹底。徹底した安全管理のもと、地域住民が安心して利用できる公園環境の構築に取り組んでいる。</p>	<p>平成6年 (32年間)</p>	<p>塩尻市</p>
<p>ニゴと草カッパの会</p>	<p>■ニゴと草カッパの会は、木曾町開田高原で途絶えつつあった伝統的な干草づくり文化(ニゴづくり)を再生し、木曾馬文化と草地の自然環境を守ることを目的に平成30年に誕生した市民団体である。</p> <p>約1haの草地で草刈り・干草づくりを行い、その干草を木曾馬の餌として活用することで、草原環境の維持と地域循環を支えている。</p> <p>また、研究機関や行政と連携し、草地の植生調査や里山文化の普及活動、干草づくり体験会などを実施。地元住民や移住者、自然保護に関心を持つ市民が参加し、多様な主体による持続可能な草地保全モデルの構築を進めている。</p>	<p>平成30年～ (8年間)</p>	<p>木曾町</p>
<p>岡谷市 衛生自治会連合会</p>	<p>■岡谷市が主催する諏訪湖清掃や、諏訪湖創生ビジョン推進会議が主催するヒシ除去体験事業などの環境美化活動に関するイベントに積極的に参加している。</p> <p>具体的には、市内の環境美化を目的として、諏訪湖周クリーンセンター周辺清掃や、盆明け諏訪湖清掃を実施している。</p> <p>その他、岡谷太鼓まつり会場にて、会場の美化や参加者の分別意識の向上を目的とした美化活動を実施している。</p> <p>また、ごみや資源物の収集定位置の立会いを通じて、市民に向け、ごみや資源物の分別、ごみの排出ルールの周知を実施している。</p>	<p>昭和31年～ (70年間)</p>	<p>岡谷市</p>
<p>佐久市立 岸野小学校</p>	<p>■平成9年7月17日にPTAフラワープロジェクトとして発足。当初は岸野小学校入口信号から600メートルに渡って花を定植した。</p> <p>平成25年・26年は、国道工事のため活動を休止したものの、その後も毎年活動が継続され、現在に至っている。</p> <p>主な活動として、PTA理事会が4月下旬から5月に雑草抜きや土おこし、6月に親子でマリーゴールドやサルビアを定植、定植以降は各支部で水やりや草取りを行うことで、夏期の国道を美しい花で彩る活動を継続している。</p>	<p>平成9年～ (29年間)</p>	<p>佐久市</p>